

1. 賛成

まだ明確化されていない廃炉へのロードマップに関して、世界的な専門家の英知を取り入れて改善し、最速の廃炉を実現する。同時に、汚染水や土壌の被爆対策にも専門家の知識を取り入れ、技術や改善を進める。

2. どちらでもない

二重住民票が可能なのかわからないが、他県に避難している方が県内にいる方たちと同じように保証を受けることができる制度を設ける。保障に漏れてしまう方に対しては、家族構成や経済状況をヒアリングし、生活再建への支援をしていく。

3. どちらでもない

東電といっても民間企業であり、国の代理的な役割も果たしているので、賠償にも限界がある。復興予算の見直しを図り、生活保障の枠組みを検討していく。海外からの投資や基金を呼び込み、一時的な賠償のみならず、将来設計に繋がる雇用の創出に取り組む。

4. どちらでもない

タイトルよりも、本質が守られて県民主体の未来づくりを実施するために、対話型・提案型の政治に取り組む。

5. 賛成

6. 賛成

県民が主導となる電力産業の在り方を確立させる。

7. どちらでもない

福島独自のアイデアが生み出されてくるのであれば応援したい。県内市町村との協力はおおいに賛成である。

8. 賛成

ただし、被ばく検査はこれだけではないので、費用対効果を見ながらより良い内部被ばく検査に改善と発展を柔軟に試み続ける。

9. 賛成

10. 賛成